

## 「11.5 津波防災の日」イベント

### 緊急地震速報講演会 ～ 迫りくる南海トラフ地震、命を守る緊急地震速報 ～

平成 27(2015)年 10 月 26 日(月)、緊急地震速報利用者協議会は(一財)気象業務支援センターとの共同事業として高知県立県民文化ホール(グリーンホール)を会場に、高知地方気象台、高知県(賛助会員)、高知市(賛助会員)と共催して、「11.5 津波防災の日」イベント 緊急地震速報講演会を開催しました。

当日は国、県、各市町村、企業、自主防災組織、教育機関、報道機関など高知県内外から幅広く来場いただき、500 名規模の椅子席が埋め尽くされました。



県民文化ホール(グリーンホール)エントランス前



会場の客席(開場前)



講演会当日は、グリーンホールのエントランスを入ったところのロビー内に、緊急地震速報の専用受信端末の展示や受信相談等のコーナーを設置しました。



司会進行は KUTV テレビ高知の竹村志麻様をお願いし、高知地方気象台の荒谷博台長、高知県の岩城孝章副知事の主催者挨拶により 14 時に開演しました。また、今回の講演会では高知市障害福祉課のご協力により、高知県登録手話通訳者による手話通訳が行われました。



挨拶される荒谷博高知地方気象台長(左)、岩城孝章高知県副知事(右)

講演①では、東京大学名誉教授、当協議会の阿部勝征会長が「懸念される南海トラフ巨大地震」と題して、内閣府の南海トラフ巨大地震モデル検討会座長として取りまとめた結果より、あらゆる可能性を考慮した巨大な地震・津波を検討し、「3.11 東日本大震災」よりもはるかに大きい被害想定がなされたこと。現在の地震学的知見では、どのケースの地震が起こるか予断できないことなどを説明され、これまでの耐震化や海岸保全施設の増強を引き続き進めるとともに、高地移転や標高の高いところの避難場所の整備等、命を守る対策を継続して取組んでほしいと強調されました。



講演される阿部勝征会長(左)、横田崇教授(右)

講演②では、愛知工業大学工学部教授の横田崇氏が「地震・津波災害から生命をまもるために」と題して、南海トラフ沿いでは巨大地震が概ね 100 年から 150 年間隔で繰り返し発生していること。南海トラフの巨大地震による高知市付近の津波による浸水シミュレーション結果から、高知

市内のほとんどで津波による被害が想定されていることをアニメーションで示されました。また、西日本での内陸の地震についても考えておく必要があることを説明され、自らの命を守るには自然現象のメカニズムを知って、日頃からの備えと訓練が最も重要であると話されました。

講演③では、荒谷博高知地方気象台長が「緊急地震速報の現状とこれからの取り組み」と題して、気象庁は平成 19(2007)年 10 月より緊急地震速報の提供を開始し、緊急地震速報が安全な対応行動や事前に機器制御を行い危機回避、地震災害の防止・軽減に活用されてきたこと。一方で「3.11 東北地方太平洋沖地震」以後、緊急地震速報の課題への対処が求められていること。これまでに高知県で緊急地震速報が発表されたのは 3 回だけであること。緊急地震速報の活用について県内で聞き取り調査を実施したことなどを説明され、南海トラフ地震が想定される県内では、緊急地震速報の活用の一層の推進とともに、見聞きした際の身を守る安全行動が適切に行えることが必要であると話されました。

閉会で阿部会長は来場者への御礼とともに、「懸念される南海トラフ巨大地震には、全ての皆様が夫々の立場で、ハード面、ソフト面で継続して取組まれていくことが必要です。当協議会は、緊急地震速報の利用促進を通じて地震災害の軽減に向けた取り組みを行っているのでご支援、ご協力をお願いします。」と挨拶されました。



閉会で挨拶される阿部会長

当協議会では、講演会に先立って、会場内のロビーで緊急地震速報の専用受信端末の展示や受信相談等を行うことを計画し、会員へ参加を呼びかけたところ、(株)アース・キャスト、アールシーソリューション(株)、(株)ANET、(株)センチュリー、明星電気(株)の 5 会員(五十音順)が参加され、各社の機器はもちろんのこと、パネル展示、リーフレットの配布などを実施しました。

短時間ではありましたが、ご協力いただいた会員の皆様に感謝申し上げます。

「11.5 津波防災の日」のイベントとして講演会を開催しましたが、副題に「迫りくる南海トラフ地震、命を守る緊急地震速報」とあって関心が高く、多くの報道関係者の事前参加申し込みとは別に、当日 4 社からの講演会の取材が行われ、阿部会長の単独取材や関係の記事が翌日の朝刊に掲載されました(別途掲載)。また、来場者へのアンケート調査も実施し、280 名の方から回答を提出していただきました。このアンケート結果は、別途掲載いたします。

本講演会は、賛助会員として入会していただいた高知県、高知市は元より、荒谷台長をはじめ高知地方気象台スタッフの皆様の手前準備から当日の設営・運営など、多大なるご尽力により成功裏に終了することができました。ここに改めて関係者の皆様に感謝と御礼を申し上げます。